



# JRC 千葉

2026  
Vol.18



令和7年度 東金市立正気小学校 文化交流事業

特集

## 学習サポート、出前講座の活用





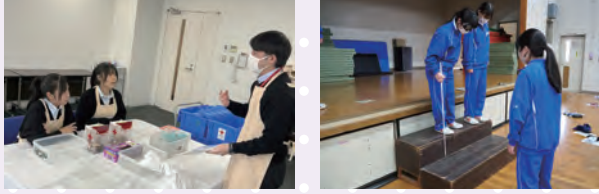
学校(園)で活かせる

# 青少年赤十字のプログラム

## 学習で活用できるプログラム

学校の希望に応じた体験活動を実施することができます。

体験活動を通じて、児童生徒に「命と健康の大切さ」を伝え、相手に対する思いやりを行動に移すことができる子供の育成に活用できます



- 救急法講習会 (AEDの使い方、心肺蘇生、三角巾を使った応急手当等)
- 水上安全法講習会 (着衣泳)
- 福祉体験プログラム (高齢者体験、車いす体験、点字体験)
- 各種講話 (防災について、ボランティアについて、国際理解について)
- 職場体験、インターンシップの受け入れ

学習プログラムの詳細はこちら ▶



## 活動に活かせる資料等の提供

青少年赤十字の実践目標に関する学習や防災教育に役立つ教材を提供することができます。

教材はホームページからダウンロードすることができます。



## 充実した資料と学習サポート

青少年赤十字では、体験活動等を実施するための豊富な人材や学習資料を用意しています。



- 救急法等講習会の指導員派遣
- 各種講演会の講師派遣
- 体験活動の講師・補助者 (赤十字ボランティア) 派遣



- 高齢者疑似体験セット (28セット)
- 白杖と視覚障がい体験ゴーグル (10セット)
- 点字盤セット (37面)
- ボッチャセット (2セット)
- ボッチャコート (折りたたみシート2面)
- ゴールボールセット
- ダンボールベッド・パーテーション、携帯トイレ など



## 生きる力

## 文部科学省 学習指導要領

変化の激しいこれからの社会を生きるために、確かな学力、豊かな人間性、健康・体力の知・徳・体をバランスよく育てることが大切だと示されています。その中で次の充実化がうたわれています。

### 体験活動の重視

学校や学級内の人間関係や環境を整えるとともに、集団宿泊活動やボランティア活動、自然体験活動、地域の行事への参加などの豊かな体験を充実すること。

- 赤十字の救急法等講習会の活用
- 児童生徒向け研修会・交流会の活用
- 福祉体験プログラム

### 道徳教育の充実

道徳教育の充実のために家庭や地域の人々の積極的な参加や協力を得たりするなど、家庭や地域社会との共通理解を深め、相互の連携を図ること。

- 地域の赤十字ボランティアとの福祉体験プログラム等の学習サポートを通じた相互交流

青少年赤十字(Junior Red Cross)では、さまざまなプログラムが用意され、子どもたちの考え方や行動力、社会性を広げます。

総合的な学習(探求)の時間や教科の学習、部活動、学級・児童会・生徒会・委員会活動等の様々な場面で活用してみませんか？

## 赤十字主催のプログラム

### 児童生徒向け研修会・交流会

他校の児童生徒と交流・学習し、共に高め合うことができます。



- リーダーシップ・トレーニング・センター
- スタディー・センター
- 高校メンバー協議会



### 国際理解教育への活用

赤十字のネットワークを活かし、国内外を視野に入れた活動や、海外メンバーの受け入れなどを行っています。



- 国際交流派遣(中・高メンバー対象)
- 国際交流受入 ● 一円玉募金を通じた海外への支援

### 国内交流派遣(小学生メンバー対象)

※佐賀県のメンバーとの交流を実施しています。



### 指導者向け研修会

青少年赤十字が長年培ってきたノウハウを指導者に提供しています。



- 教師のための指導力アップセミナー
- 青少年赤十字指導者研修会 など

## JRCを経験した子どもたちの声



いのちと健康を大事にします。

友達の気持ちを考えて行動します！



学校や家で自分ができることを実行しています。



## 青少年赤十字の「実践目標」と「態度目標」

児童生徒の「生きる力」の充実と実践に青少年赤十字が活用できます。

### 実践目標 「生きる力」の充実化

#### バランスよく育てる教育方針

#### 『健康・安全』

生命と健康を大切にする

#### 『奉仕』

社会のため、人のためにつくす責任を自覚し、実行する

#### 『国際理解・親善』

広く世界の青少年を知り、仲良く助け合う精神を養う

### 態度目標 「生きる力」の実践

#### 活動における指針

#### 『気づき』

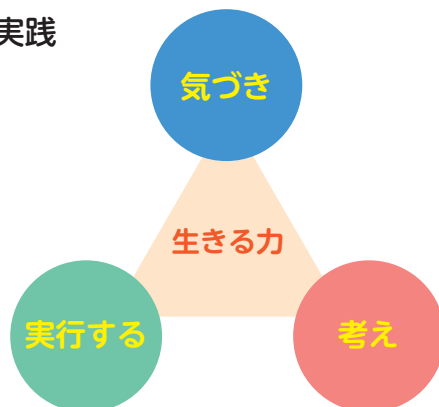
自分の生活や社会のニーズに気づく

#### 『考え』

原因と解決の方法を考える

#### 『実行する』

問題解決のための具体的な行動を実行・評価・反省する。



# 活動紹介

## 高校メンバー協議会

年2回、採用校の高校生が県内各地から集まり、仲間との交流を通じて「健康・安全」「奉仕」「国際理解・親善」の学習・実践活動を行っています。会の企画・運営は毎年立候補した高校生メンバーが担っています。

### 令和7年度のテーマは「持続可能な社会と環境」

#### 第1回

温暖化についての理解を深めて、これからの生活に生かせるものをみつけるため、銚子地方気象台より講師を迎えお話を聞きました。



#### 第2回

高校メンバー協議会と「千葉県青少年赤十字のつどい」を合同で開催し、小学生・中学生・高校生が一同に集い、非常食炊き出し体験、赤十字施設見学（義肢製作所、血液センター、救護倉庫、献血バス等）、ふなばし三番瀬環境学習館より学芸員を迎え「東京湾の一番奥から考える、シーフードの昔・今・未来」についてお話を聞きました。



## 指導者向け研修会

学校現場へ青少年赤十字を取り入れ、学校づくりや子どもの育成等に役立てていただくための研修会を実施しています。

### ●リーダーシップ・トレーニング・センター指導者研修会

県内各地区でリーダーシップ・トレーニング・センター（以下トレセン）指導に関わる先生方に、指導経験豊富な先生から、講座の特徴や組み立て方などをお伝えします。

### ●教師のための指導力アップセミナー

3日間にわたり開催する研修会です。青少年赤十字が培ってきた「グループ・ワークの理論と実践」を研修の中心に据え、学級経営や教科指導に活かせる、子どもたちが自主的、意欲的に取り組むための手立てを体験しながら研修します。



### ●千葉県青少年赤十字指導者研修会

児童・生徒対象の研修会スタディー・センター（以下スタセン）と並行して開催する研修会です。実際に児童・生徒が取り組むスタセンのプログラムを体験し、青少年赤十字の指導方法のねらいとその活用について理解を深めます。

青少年赤十字の各種行事・研修会については千葉県教育委員会の後援を受けており、学校長の許可をいただければ「2年目3年目の選択研修」や「中堅教諭等資質向上研修の選択研修の自主研修」として活用いただけます。ぜひご利用ください。

## 特集

# 学習サポートプログラム

## (出前授業)

◆青少年赤十字採用校 千葉県立千葉特別支援学校で  
防災教育の活動をしました。

当日の様子など担当の先生にお聞きしました！

## 千葉県立千葉特別支援学校の紹介

千葉市花見川区にあり、花見川区、稲毛区、美浜区を学区とし、平成3年に開校し創立35年となります。主に知的障害をもつ児童生徒が通っており、児童生徒数は262名です。「たくましく主体的に活動する、心豊かな児童生徒の育成」を学校目標とし、児童生徒の生きる力の育成に向けた授業づくりに取り組んでいます。

## 当日の活動紹介

地震想定全校避難訓練の後、避難所での生活体験や防災食の試食、防災に関する各体験ブースをめぐって学習を行いました。本校で結成した「防災隊・生徒会」と地域の方々、消防団、社会福祉協議会、日本赤十字社のご協力のもと運営を行いました。

### 防災教育

### 日本赤十字社千葉県支部のブース



避難所での生活を想定し、段ボールベッドや簡易トイレ等の体験、防災グッズの確認を行いました。



炊き出しでは、初めて食べるものは不安でも、経験をすることでいざというときに少しでも安心できたと思います。

### 地域との連携



消防団協力のもと、耐火服の試着をしてホースを持つ体験をしました。

防災隊が「お・か・し・も」の普及活動を行っています。



自分の命を守る基本的な避難行動が身についています。



## 先生からのコメント

年間を通して、防災に関係する学習に継続して取り組んだことで、これまで以上に地震や災害といった言葉が身近になり、主体的に基本的な避難行動を確実にとることができるようになってきたり、学校生活の中で子供たちから防災に関する発言が聞かれるようになるなど意識の高まりが感じられました。また、「防災隊」のメンバーは、自分たちで考えて実践したり、思いやりをもってみんなをリードしたりする姿がみられました。今後も、防災教育の実践を積み重ね、地域や関係機関等と連携しながら体制の整備を進め、安全で安心できる学校づくりをしていきたいと思っています。

## 活動紹介

# 学習サポートの活用

## 長生村立高根小学校 防災セミナー

おうちのきけんの実施、避難所を想定した段ボールベッド、パーテーションの設置を体験し、防災に向けての取り組みを防災クラブの児童が体験しました。



### ご担当の先生の感想

防災クラブの活動として取り組みました。災害により避難が必要になったときの対処法などをお話していただき、子ども達自身で避難所設営を行うことができました。段ボールベッドに寝た児童からは、「普通のベッドみたい」と驚いていました。

## 船橋市立大穴中学校 防災セミナー

ひなんじょたいけん(赤十字版HUG)を3学年の全クラスの生徒が体験しました。



### ご担当の先生の感想

生徒たちは次から次へとするイベントに悩み、楽しみ、話し合いながら体験することができました。避難所は被災者が命をつなぐ場所です。その先には元通りの生活を目指す、長い道のりがあると思います。中学生のうちに、防災の知識、技術に加えて、命の大切さを考える機会を得られたことはとてもありがたい体験だったと思っています。今後も本校の活動にご協力いただけたらと考えています。

## 東金市立正気小学校 文化交流事業

4～6年の児童が、千葉県赤十字語学奉仕団員から、スリランカの文化を学びました。



### ご担当の先生の感想

スリランカの国旗や野生のゾウ、白い学生服のお話にも、児童は終始興味津々でした。クイズや質問にも積極的に取り組む姿が見られました。楽しみながら異文化への理解を深める、笑顔あふれる貴重な体験となりました。

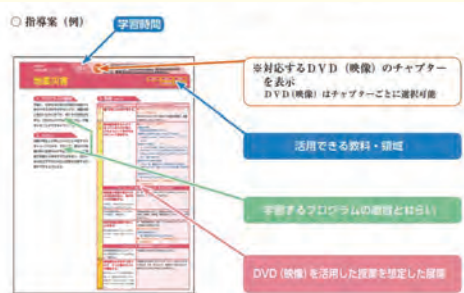
# 赤十字の防災教育プログラム

日赤は、1888（明治 21）年に発生した「磐梯山噴火災害」で初めて災害救護活動を実施して以来、これまで多くの災害で医療救護を行ってきました。日赤の防災教育は、子どもたちが主体的に取り組み、知識と行動力を身につけることができるだけでなく、他者への思いやりや優しさ、いのちの大切さを学び取る力を育むことができます。

園児から高校生まで、校種に応じた教材提供や、講師派遣を行っています。

## 活用方法1

### 授業で使用する



### 「まもるいのちひろめるぼうさい」

対象 小・中・高

自然災害に向き合ってきた日赤と現場の教員が開発・制作した「授業ですぐ使える防災教材」です。児童・生徒が防災について意欲的に学習に取り組めるよう、付属のDVD（映像）と連動した指導案とワークシートで構成されています。

授業への講師派遣も可能です

## 活用方法2

### 講師派遣を依頼して防災セミナーを開催する

これまでの災害救護活動において培ってきた経験や技術を、教育現場の防災教育にお役立ていただくため、採用校へ講師を派遣しています。

#### 防災セミナー カリキュラムの例

##### ● 講話 災害への備え (約 60分) 対象 中学生以上

自然災害や感染症がもたらす様々な被害から、いのちを守り、その後の暮らしをつなぐために、平時から備えること（自助・共助）の重要性を学びます。

##### ● 家具安全対策ゲーム (KAG) (約 45分) 対象 小学校高学年以上

就寝中の家具による事故を防ぎ、家の中にけがの原因が潜んでいるという危機感を高めて、日常から備えるために登場したのが「KAG」。実際に自宅の平面図を描き起こし、家具の配置で危険な箇所を把握して、地震が発生したときに、自分や家族の命を守るためにはどういった対策が必要か、ゲーム形式で学んでいくプログラムです。



##### ● 「ひなんじょたいけん」 (約 90分) 対象 中学生以上

いつ起こるかわからない大規模災害を想定して、「避難者の目線」で避難所における「自助」と「共助」の力の向上を目的としたプログラムです。避難所に見立てた平面図と、世帯ごとに避難者の年齢や健康状態、被災状況が書かれたカード。5～7人のグループになって、避難所に見立てたカードを引きながら考えていきます。さまざまな出来事、課題にどう対応していくか、意見交換しながら気づきを深めることで「避難者」を疑似体験することができます。



## 活用方法3

### 学校行事やレクリエーションで活用

楽しみながら防災を学ぶことができる防災教材や、その他資料の貸出、映像資料の提供を行っています。

#### 貸出教材

- ぼうさいまちがいさがしけんはっけん!  
(対象：幼稚園・保育園)
- 防災すごろくゲーム  
(対象：小学校中学年～)
- 防災カードゲーム  
(対象：小学校低学年～)
- 段ボールベッド



#### 映像資料

##### 「おうちの中のモンスター」

いつやってくるかわからない大地震。実は、家の中にこそ大きな危険が潜んでいます。家族や身近な人たちと一緒に見ながら防災力を高めることができます。



##### 「不安が見えなくなるメガネ」

災害時に働く 2 つの心理「正常性バイアス」「同調性バイアス」について理解を深めることができます。



防災教育プログラムのご相談やお申込みについては青少年・ボランティア課までお問い合わせください。

問い合わせ先



043-241-7531



seibora@chiba.jrc.or.jp

# 千葉県の青少年赤十字

## 青少年赤十字とは

青少年赤十字(Junior Red Cross, JRC)は、児童生徒が赤十字の精神に基づき、世界の平和と人類の福祉に貢献できるよう、日常生活の中での実践活動を通じて、いのちと健康を大切に、地域社会や世界のために奉仕し、世界の人々との友好親善の精神を育成することを目的として、様々な活動を学校教育の中で展開しています。

## 青少年赤十字の学校教育への採用推奨について

●青少年赤十字の学校教育への採用推奨について各機関から依頼文が発出されました。

▶千葉県教育委員会 教育長から  
令和8年2月3日付  
各県立学校長  
各市町村教育委員会教育長  
各教育事務所長あてに発出



▶千葉県総務部 学事課長から  
令和8年3月18日付  
各私立学校長あてに発出



▶千葉市教育委員会 学校教育部教育指導課長から  
令和8年2月20日付  
各千葉市立小中高特別支援校長あてに発出



千葉県マスコットキャラクター  
チーバくん  
千葉県許諾第A1562-11号

## 青少年赤十字の概況について

- 青少年赤十字は全国の幼稚園、保育所(園)、小学校、中学校、高等学校、特別支援学校の約14,304校で採用され、約335万人が活動しています。
- 千葉県では、千葉県教育委員会、千葉市教育委員会の後援により行事を実施しています。
- 千葉県教育委員会及び総務部学事課、千葉市教育委員会から各学校の青少年赤十字の採用が推奨されており、県内の幼稚園、保育園を含んだ245校で、それぞれの実態に合わせて工夫した活動をしている仲間がいます。

※数字は令和7年3月31日現在

## 青少年赤十字の採用について

- 活動に役立つ学習資料・資材の提供が受けられます。青少年赤十字プログラム(中面)をご参照ください。
- 「総合的な学習の時間」「総合的な探求の時間」に活用できる体験学習やボランティア学習、防災・減災学習等の指導者の派遣を無料で受けることができます。
- 先生方を対象とした研修会、メンバーを対象とした職場体験等が受けられます。
- 採用することで、何らかの義務や強制を伴うようなことは、一切ありません。



青少年赤十字についてはこちら

<https://www.chiba.jrc.or.jp/activity/youth/index.html>

